

令和7年度 埼玉県男女共同参画推進センター 事業概要

目 次

I 埼玉県男女共同参画推進センター概要

1 施設名称	3
2 愛 称	3
3 経 緯	3
4 施設（本所）の概要	4
（1）設置の趣旨	4
（2）建設（本所）の概要	4
（3）主な施設と施設の特色	4
（4）建設事業費	6
5 管理運営	6
（1）組織	6
（2）本所休館日、開館時間	6

II 令和7年度事業計画

1 重点的取組	7
2 事業の概要	7
（1）施設の貸出	7
（2）情報収集・提供	7
（3）相談	8
（4）困難な問題を抱える女性への支援	8
（5）講座・研修	8
（6）自主活動・交流支援	9
（7）調査・研究	10

令和7年度イベントカレンダー	11
----------------	----

III 令和6年度事業実績

1 施設の利用状況	12
2 情報収集・提供事業	14
（1）情報ライブラリーの運営	14
（2）インターネットによる情報発信	16
（3）広報紙の発行	16
（4）男女共同参画パネルの作成及び貸出し	16
（5）利用者懇談会	20

3 相談事業	2 1
（1）相談受付状況	2 1
（2）男性相談員による男性のための電話相談	2 2
（3）グループ相談	2 3
（4）デートDV防止講座	2 3
（5）女性に対する暴力をなくす運動	2 3
（6）DV防止フォーラム	2 3
（7）性暴力防止セミナー ※さいたま市との共催事業	2 4
（8）困難女性支援事業セミナー・グループ相談会	2 4
（9）メタバース相談事業（個別相談&交流会）	2 5
4 講座・研修事業	2 5
（1）男女共同参画週間講演会	2 5
（2）男性によるトークセッション	2 5
（3）ジェンダー主流化の推進	2 6
（4）DV防止フォーラム [再掲]	2 6
（5）フェスティバル講演会	2 6
（6）女性リーダー応援講座	2 7
（7）市町村職員研修	2 8
（8）性暴力防止セミナー ※さいたま市との共催事業 [再掲]	2 9
（9）共催・連携事業	2 9
5 自主活動・交流支援事業	3 0
（1）団体登録制度と活動支援	3 0
（2）活動発表コーナーの利用	3 1
（3）サポートスタッフ	3 2
（4）ワークショップ開催事業	3 2
（5）女性リーダー育成講座修了生オンライン交流会	3 2
（6）さいがい・つながりカフェの実施（共催）	3 3
（7）講師の派遣（県政出前講座）	3 3
（8）女性団体への活動拠点提供事業	3 5
6 調査・研究事業	3 6
7 その他	3 6
令和6年度イベントカレンダー	3 7
例規集	3 8
埼玉県男女共同参画推進センター条例	3 9
埼玉県男女共同参画推進センター管理規則	4 4
埼玉県男女共同参画推進センター保育実施要領	4 7
埼玉県男女共同参画推進センター利用者懇談会設置要綱	4 8
「男女共同参画パネル」等の貸出要領	5 0
男女共同参画パネルのデータ提供取扱要領	5 2
埼玉県男女共同参画推進センター男女共同参画推進団体登録事務処理要領	5 4
埼玉県男女共同参画推進センターサポートスタッフ活動要領	5 5

I 埼玉県男女共同参画推進センター概要

1 施設名称 埼玉県男女共同参画推進センター

2 愛称 ^ウ ^イ ^ズ ^ニ ^ー
With You さいたま

3 経緯

平成 8 年度 「女性の支援策検討委員会」を設置し、「女性のための支援策検討委員会報告書～埼玉県の女性センターのあり方について～」として提言を受けた。
「埼玉県長期ビジョン」に女性センターの整備が明記された。

平成 9 年度 「埼玉県女性センター（仮称）基本構想検討委員会」を設置し、その検討を踏まえて、平成 10 年 3 月に「埼玉県女性センター（仮称）基本構想」を策定した。
「埼玉県新 5 か年計画」に、女性センターの設置を重点施策として位置付けた。

平成 10 年度 7 月にさいたま新都心に建設される公立学校共済組合宿泊施設に併設を決定した。
「埼玉県女性センター（仮称）基本計画検討委員会」を設置し、平成 11 年 3 月に「埼玉県女性センター（仮称）基本計画検討委員会報告書」として提言を受けた。

平成 11 年度 9 月に「埼玉県女性センター（仮称）基本計画」を策定した。
「埼玉県女性センター（仮称）施設検討委員会」を設置し、施設内容について検討した。
「埼玉県女性センター（仮称）情報システム検討委員会」を設置し、情報システムの内容について検討した。
平成 12 年 3 月制定の埼玉県男女共同参画推進条例第 11 条において、女性センターを「男女共同参画社会の実現に向けた施策を実施し、並びに県民及び市町村による男女共同参画の取組を支援するための総合的な拠点施設」として位置付けた。

平成 12 年度 7 月に建設工事に着手した。
公募委員を主体とした「埼玉県女性センター（仮称）事業検討委員会」を設置し、利用者の立場に立った事業について検討した。
愛称を公募し、9 月に「With You さいたま」と決定した。

平成 13 年度 開設準備業務を財団法人埼玉県県民活動総合センターに委託し、女性センター開設準備室を設置した。
12 月定例県議会で「埼玉県男女共同参画推進センター条例」が制定され、施設の名称を「埼玉県男女共同参画推進センター」とした。

平成 14 年度 4 月 1 日埼玉県と財団法人いきいき埼玉との間で、埼玉県男女共同参画推進センターの管理運営委託契約を締結した。
4 月 21 日オープン。

平成 17 年度 4 月 1 日、センターの管理運営が県の直営となった。

- 平成 20 年度 女性キャリアセンターを開設した。
- 平成 22 年度 就業支援課女性就業相談担当（女性キャリアセンター）を組織統合し、女性のチャレンジ支援と就業支援の一体的推進を図ることとした。
- 平成 23 年度 就業支援課所管の中高年就職活動支援コーナー埼玉及びヤングキャリアセンター埼玉が男女共同参画推進センター内に入居した。
- 平成 24 年度 女性のチャレンジ支援に係る事務の一部及び女性の就業相談に係る事務（女性キャリアセンター）を新設の産業労働部ウーマノミクス課に移管し、男女共同参画推進センターの女性チャレンジ・女性就業相談担当は、ウーマノミクス課の職員が兼務することとなった。
8 月 1 日に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律に基づく配偶者暴力相談支援センターの機能を付加した。
- 平成 25 年度 就業支援課所管の中高年就職活動支援コーナー埼玉及びヤングキャリアセンター埼玉が男女共同参画推進センターから転出した。（就業支援課が開設した、ハローワーク浦和・就業支援サテライト（武蔵浦和）へ移転）
- 令和 2 年度 女性のチャレンジ支援に係る事務の一部を産業労働部ウーマノミクス課より移管した。
- 令和 4 年度 6 月 25 日、With You さいたま開設 20 周年イベントを開催した。
- 令和 6 年度 4 月 1 日、埼玉県婦人相談センターと統合し、埼玉県男女共同参画推進センターを本所、旧埼玉県婦人相談センターを支所とした。
困難な問題を抱える女性への支援に関する法律に基づく女性相談支援センター、女性自立支援施設の機能を付加した。

【支所（旧埼玉県婦人相談センター）の沿革】

- 昭和 32 年度 埼玉県婦人相談所を設置した。
- 昭和 61 年度 埼玉県婦人相談センターを設置した。
- 平成 14 年度 配偶者暴力相談支援センターの機能を付加した。
- 令和 6 年度 埼玉県男女共同参画推進センターと統合し、同センター支所となった。

4 施設（本所）の概要

（1）設置の趣旨

男女共同参画社会づくりの総合的な拠点施設として、県の男女共同参画施策を実施し、県民や市町村の男女共同参画の取組を支援する。

男女共同参画に関する①情報収集・提供、②相談、③講座・研修、④自主活動・交流支援、⑤調査・研究を実施する。

また、女性相談支援、配偶者暴力相談支援及び女性自立支援に関する業務を行う。

（2）建設（本所）の概要

公立学校共済組合埼玉宿泊所「ホテルブリランテ武蔵野」との複合施設

・鉄筋コンクリート造 地上 9 階建ての 3、4 階部分

・延床面積（専用面積） 約 3, 700 m²

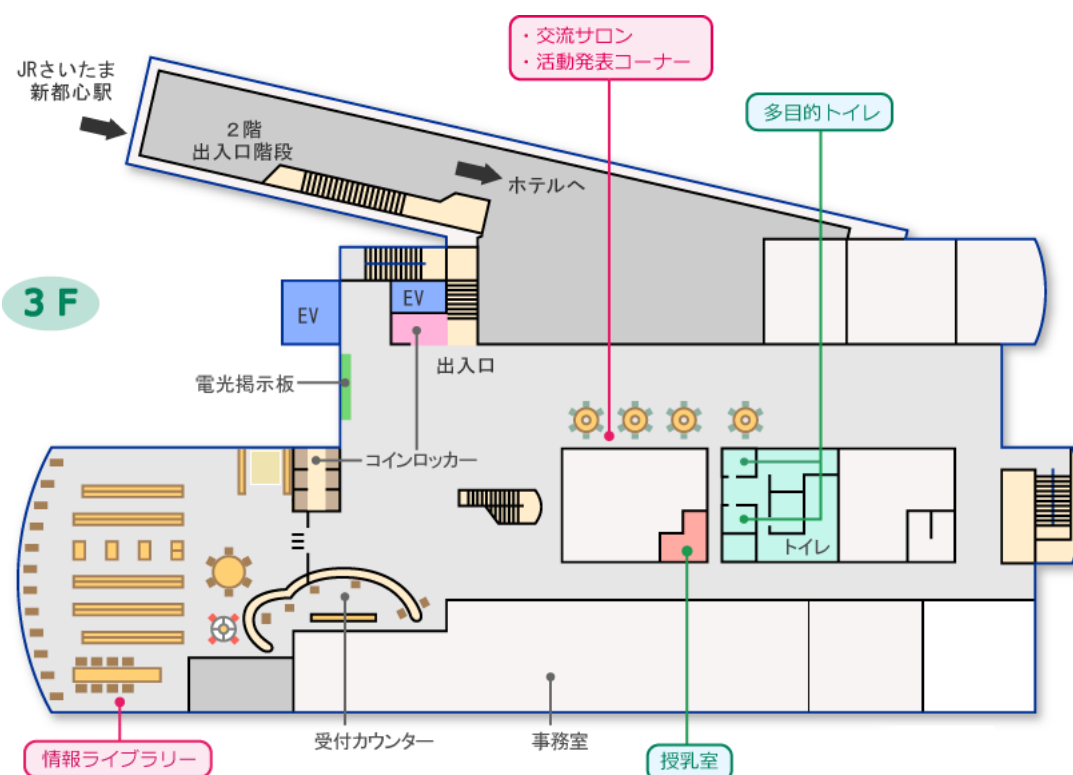
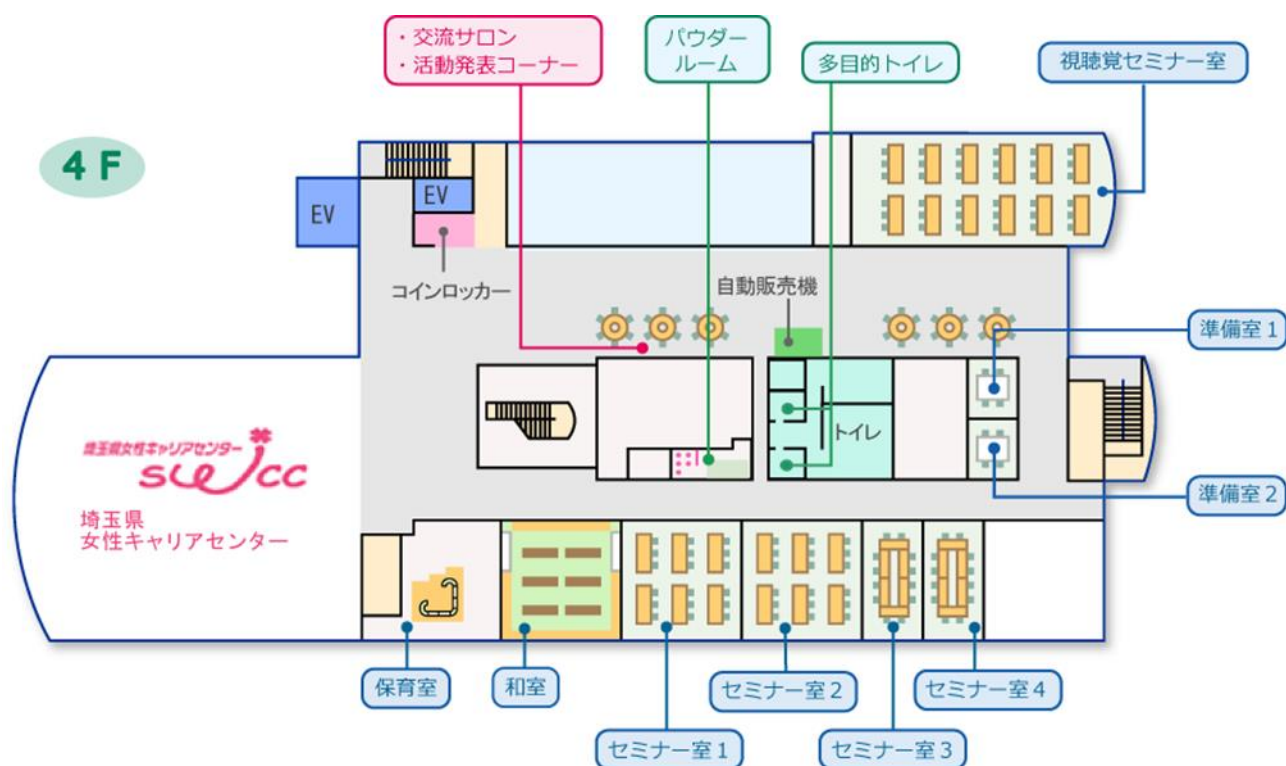
（さいたま市中央区新都心 2 番地 2 敷地面積 約 4, 000 m²）

（3）主な施設と施設の特徴

・主な施設 情報ライブラリー、セミナー室、視聴覚セミナー室、和室、保育室、

交流サロン、活動発表コーナー

- ・施設の特徴
 - ・ 多目的トイレの設置（各階2室）
 - 1室 オストメイト対応設備、ベビーシートを設置
 - 1室 簡易ベッド設置
 - ・ 授乳室の設置
 - ・ 難聴者用補聴システムの導入（視聴覚セミナー室）
 - ・ フレックストイレのほか、セミナー室間の壁に可動壁を導入
 - ・ 県産木材の使用（和室、視聴覚セミナー室、受付カウンター）



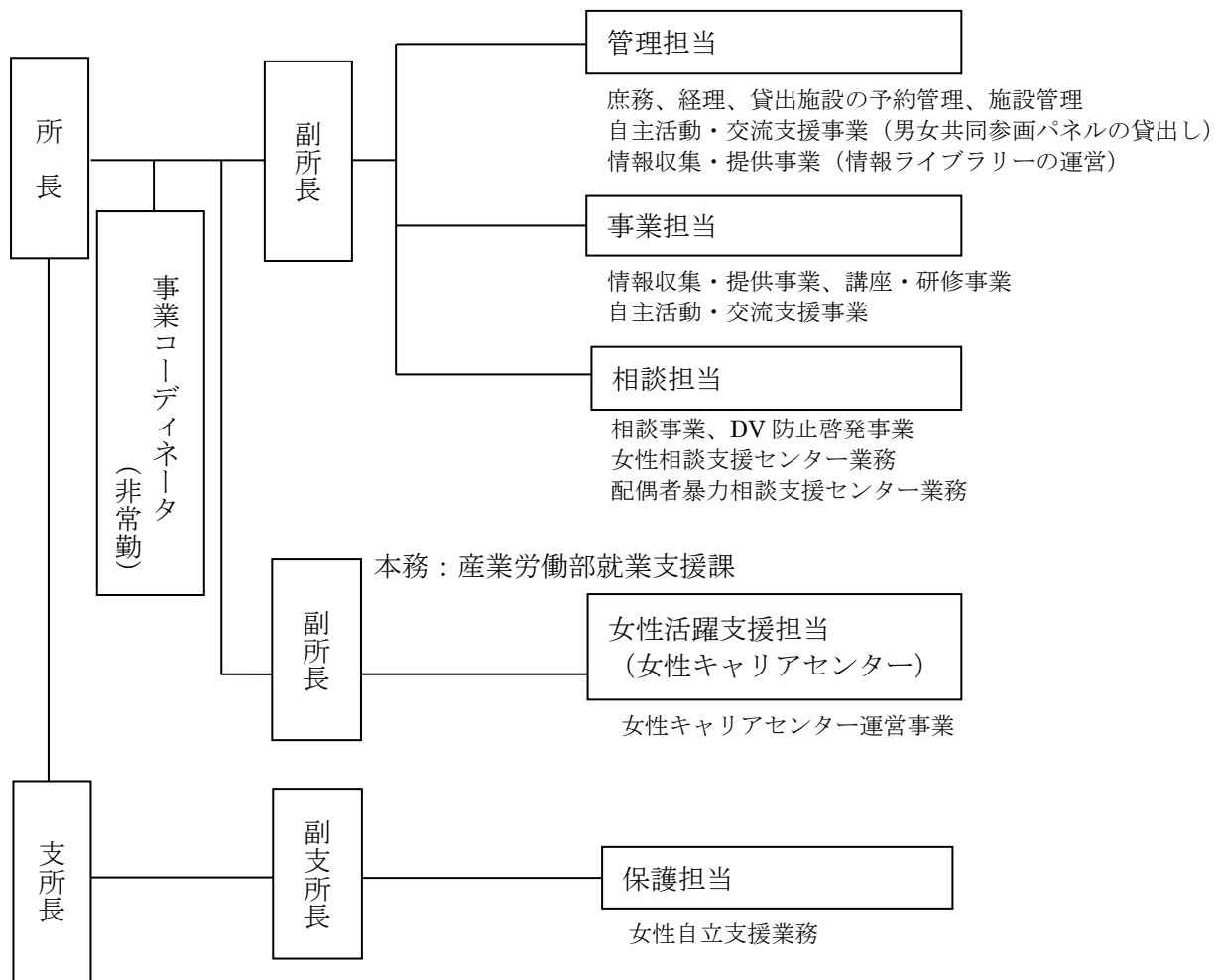
（令和7年4月現在）

(4) 建設事業費（継続費：平成11～13年度）

建設費負担金	24億6,800万円
情報システム整備費	1億4,700万円
備品購入費	7,400万円
継続費総額	26億8,900万円

5 管理運営

(1) 組織



(2) 本所休館日、開館時間

- ・休館日 年末年始（12月29日～1月3日）及び施設点検日（毎月第3木曜日）
※その他臨時休館日あり
- ・開館時間 月曜日～土曜日 9：30～21：00
日曜日及び祝日 9：30～17：30

Ⅱ 令和7年度事業計画

1 重点的取組

(1) 困難な問題を抱える女性への支援

困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行を踏まえ、困難な問題を抱える女性の人権が尊重され、安心かつ自立して暮らせるための取組を実施する。

ア 女性の意思が尊重されながら適切な支援が提供されるような相談支援体制の充実

イ 困難な問題を抱える女性を相談や支援に繋げるためのきっかけづくりや居場所の提供

【主な取組】

○地域における相談会

○メタバース空間における個別相談や交流会

ウ 自立支援やアフターケアの実施

(2) 県内における「ジェンダー主流化」の推進

埼玉県全体における男女間格差の解消を目指し、企業や市町村等に対してジェンダー主流化の理解促進を図る取組を実施する。

ア 経済団体等と連携し、セミナーを開催

【主な取組】

○企業・団体向けセミナー

○市町村向けセミナー

イ 広報紙等による理解促進

(3) その他

ア 固定的役割分担意識解消やこれからの男性の生き方、ダイバーシティ社会の実現等について、男性によるトークセッション形式で考える取組を実施

特に、男性や若者への啓発に注力

【主な取組】

○ダイバーシティ講演会（男性によるトークセッション）

イ 地域で実践的な活動を行う女性人材の育成や活動支援

【主な取組】

○女性リーダー応援講座

2 事業の概要

(1) 施設の貸出

施設の貸出を通して男女共同参画に取り組む団体の活動を支援するとともに、広く県民や企業等の人材育成の場としての活用を促す。

(2) 情報収集・提供

男女共同参画社会づくりに関する図書や資料（埼玉県をはじめ、国連、国、他都道府県、県内市町村、団体・グループ等）を収集し提供する。

ア 情報ライブラリーの運営

男女共同参画社会実現に資する図書や資料等の収集と提供、県・市町村・活動団体等の関連資料及び社会の現状や時流を反映した資料等の収集と提供、センターで実施する各種事業との連携を図り、関連情報の発信を行う。

イ インターネットによる情報発信の充実

センターホームページやSNS（Facebook）、動画配信を活用して、県内在住・在勤・在学の方々、市町村、関連施設や関係団体に対し、施設利用に関する情報、センターの

事業案内、講座や研修、男女共同参画社会実現に資する情報など様々な情報を発信していく。

ウ 広報・意識啓発

- ① 男女共同参画推進のための情報、トピックス、センターのPR、講座・催し物、相談事業の啓発などを目的に広報紙等を発行する。
 - 広報紙「With You さいたま」を年3回発行
 - 埼玉県内相談窓口ガイド
- ② 男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画に関する啓発活動を実施する
 - 男女共同参画パネルの展示
 - パープルリボンキャンペーン、パープル・ライトアップの実施

エ 男女共同参画パネルの貸出し

男女共同参画社会づくりに向けた啓発の一環として、イラストや図表で解説したパネルを館内に掲示するとともに、県内市町村、団体等へ貸出しを行う。

(3) 相談

男女共同参画の推進に資するため、個人の抱える様々な悩みや問題について相談に応じるとともに、女性相談支援センター機能及び配偶者暴力相談支援センター機能を担う。

ア 電話相談

イ 専門相談

(法律相談・カウンセリング・男性のための電話相談)

ウ インターネット相談

(4) 困難な問題を抱える女性への支援

ア 困難な問題を抱える女性への相談支援事業

困難や不安、孤立した状況の解消に資する情報を提供するセミナーを実施するとともに、悩みや不安を共有し、語り合う機会・場を提供するグループ相談会を開催

イ メタバース相談事業

生きづらさや孤立、孤独感などの悩みや不安を抱える女性が少しでも気軽に悩みを打ち明けられるよう、県が運営する「バーチャル埼玉」で、アバターとなって参加する「個別相談」及び「交流会」を実施する。

① 個別相談

一人では解決できないような悩みや不安を軽減、解消するために、公的支援の様々な情報を提供する。

② 交流会

同じような悩みを抱えた女性同士で語り合い、不安や孤立を解消し、「心の孤立を防ぐ居場所」になるよう実施する。

ウ 困難な問題を抱える女性の自立支援の実施

エ 関係機関との連携・人材育成

(5) 講座・研修

固定的性別役割分担意識の解消など、男女共同参画社会の実現に向け、講演・講座、研修等を開催する。

ア センター主催講演・講座

広く県民を対象に男女共同参画社会の実現に向けた講演・講座を開催

○各種講演会(6月、7月、8月、2月)

○女性リーダー応援講座

主催講座 全6回

共催講座(坂戸市) 1回(2日間)

- イ 他機関との共催
 - 近隣施設との共催（連携）
 - 大学や各種団体等との共催（連携）

- ウ 市町村職員研修
 - 市町村の男女共同参画担当職員を対象として実施（初任者・課題別・地域別）
 - 市町村等の女性支援・DV被害者支援担当職員を対象として実施（基礎・実務・応用・専門）

（６）自主活動・交流支援

ア 団体登録制度と活動支援

自主的な活動を行う団体やグループに対する各種情報の提供など、これらの団体等が主体的に活動するための様々な支援を行うために、登録制度を設けている。

〔登録団体への活動支援〕

- ① 情報提供
- ② 貸出施設の優先予約
- ③ 団体・グループ情報のホームページへの掲載
- ④ グループロッカーの貸出し

イ サポートスタッフの活用

男女共同参画社会の実現に必要な社会参加や地域活動への経験が得られるよう、イベント等の運営補助、情報ライブラリー通信への寄稿等を行うボランティアとして、サポートスタッフ制度を設けている。

ウ 女性団体への活動拠点提供事業

県内各地の女性団体のネットワークの核となることが期待される女性団体に、男女共同参画推進センターの１室を活動拠点として提供し、当センターと事業連携を行いながら、事業拡大を支援する。

エ With You さいたまフェスティバルの開催

男女共同参画の視点を持って県内で活動する団体・グループが日頃の活動成果を発表する機会を提供し、団体間の連携と交流を促進する。（２月）

オ 女性リーダー応援講座等修了生オンラインカフェの実施

女性リーダー育成講座や女性リーダー応援講座等の修了者を対象に毎月第３月曜日 19 時 30 分から 20 時 30 分に、オンラインでテーマに応じた意見交換を行い交流を促進する。

カ さいがい・つながりカフェの実施（共催）

「さいがい・つながりカフェ実行委員会」とともに、東日本大震災被災者（埼玉県内への避難者）の交流会を毎月２回実施する。（平成 23 年 9 月から継続開催）

キ 講師の派遣（県政出前講座）

男女共同参画に関する意識啓発及びセンターの周知を図るため、県内市町村等からの要請に応じ、男女共同参画専門員や相談員等を研修・講座等の講師として派遣する。

- （ア）男女共同参画基礎講座～あらゆる場面にジェンダーの視点を～
- （イ）災害・防災と男女共同参画
- （ウ）知っていますか？デートDV

(7) 調査・研究

男女共同参画を推進するための調査・研究を必要に応じて適宜実施する。

令和7年度 With You さいたま イベントカレンダー

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
男女共同参画推進センター事業	情報収集・提供事業	○情報ライブラリーの運営 ○企画展示 ○パネル貸出			広報紙7月号発行 「With You さいたまvol.77」 情報ライブラリー通信 「ブックマークvol.64」7月発行			情報ライブラリー通信 「ブックマークvol.65」10月発行	広報紙11月号発行 「With You さいたまvol.78」		情報ライブラリー通信 「ブックマークvol.66」1月発行		広報紙3月号発行 「With You さいたまvol.79」
	相談事業	○各市町村女性支援・DV被害者支援ネットワーク会議 年間を通し、出席依頼があった場合に対応(年7～8回を想定) ○講師派遣 年間を通し、出席依頼があった場合に対応(年4～5回を想定)		グループ相談会	グループ相談会 埼玉弁護士会共催 7/11(金) 女性支援・配偶者暴力 相談支援センター連絡 会議①	性暴力防止セミナー オンライン配信 8/1(金)～8/31(日) 埼玉弁護士会との 意見交換会	女性相談支援員 連絡会議①		DV防止フォーラム 11/20(木)		女性支援・配偶者暴力 相談支援センター連絡 会議②	グループ相談会 中止の場合あり 女性相談支援員 連絡会議②	
		○男性のための電話相談 毎月第1、3日曜日 ○カウンセリング 原則毎月第4日曜日 ○女性のための法律相談 毎月第2木曜日、第4火曜日			○デートDV防止講座 7月～12月の間 高校 5校 大学等1校								
								困難女性支援事業 セミナー&グループ相談会 9月～2月の間					
								メタパス相談事業(個別相談&交流会)4月～3月の間 各月で実施					
講座・研修事業	主催事業	市町村担当職員初任者 研修 4/25(金)		女性リーダー応援講座① 6/28(土)	女性リーダー応援講座② 7/12(土) 女性リーダー応援講座③ 7/26(土)	ダイバーシティ講演会 8/31(日) 女性リーダー応援講座④ 8/31(日)		ジェンダー主流化市町村 向けセミナー 10/31(金) 女性リーダー応援講座 (坂戸市共催)① 10/26(日)	ジェンダー主流化 企業・団体向けセミナー 11/6(木) 女性リーダー応援講座⑤ 11/20(日) 女性リーダー応援講座 (坂戸市共催)② 11/29(土)	女性リーダー応援講座⑥ 12/13(土)		With You さいたま フェスティバル講演会 2/8(日)	
		女性支援・DV被害者 支援担当者基礎研修①	女性支援・DV被害者 支援担当者基礎研修②③	女性支援・DV被害者 支援担当者実務研修①②		市町村地域研修	女性支援・DV被害者 支援担当者応用研修			女性支援・DV被害者支援地区別専門研修			
	共催事業							目白大学・同短期大学部との共催事業 (地域連携・研究推進センター)				埼玉大学との共催事業 (ダイバーシティ推進センター)	
交流支援事業	自主活動・			サポートスタッフ会議 6/6(金)					小児医療センター共催講座			With You さいたま フェスティバル 2/7(土)・2/8(日)	女性リーダー応援講座 修了生リアル交流会 3/8(日)
												女性リーダー応援講座修了生オンライン交流会(毎月第3日曜日)	

Ⅲ 令和6年度事業実績

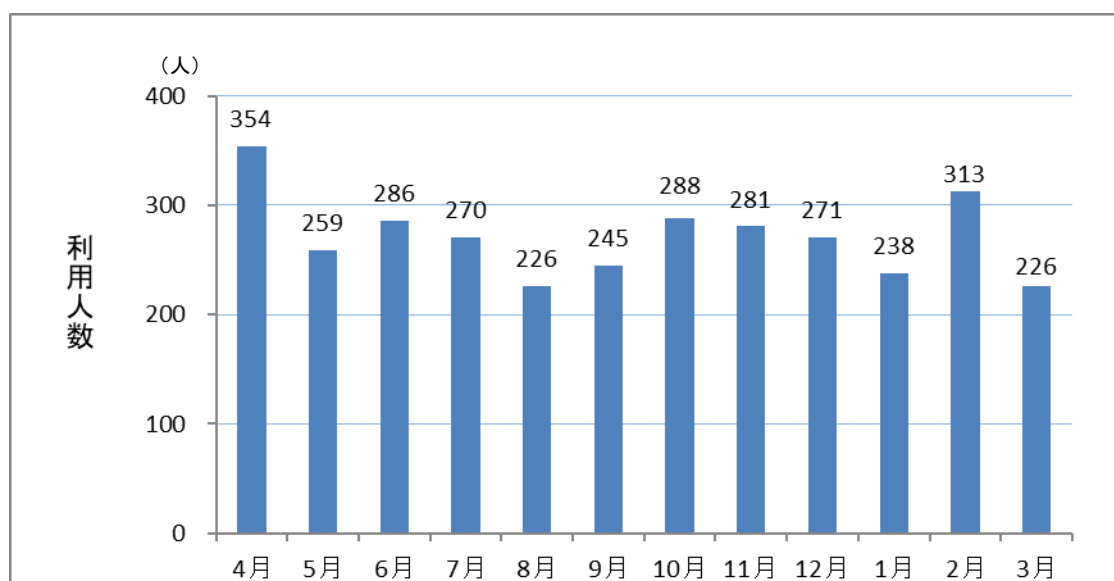
1 施設の利用状況

(1) 月別施設別延べ利用者数

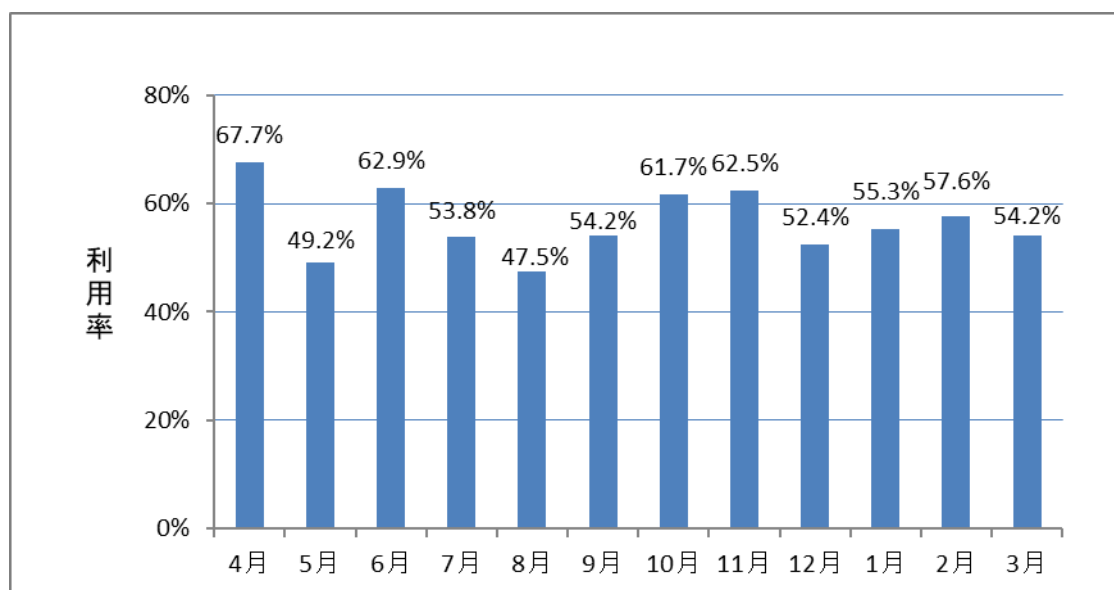
区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出施設	セミナー室1	1,202	642	766	853	441	428
	セミナー室2	1,130	541	671	790	428	501
	セミナー室3	554	467	483	498	319	281
	セミナー室4	442	414	347	350	377	329
	視聴覚セミナー室	2,069	653	891	462	353	531
	和室	183	98	98	96	120	241
	準備室	137	80	80	75	68	101
	小 計	5,717	2,895	3,336	3,124	2,106	2,412
情報ライブラリー(入室者数)		1,225	1,643	1,737	1,696	1,569	1,387
(開放端末利用者数)		(36)	(63)	(39)	(33)	(43)	(21)
フリースペース等利用者数		2,959	2,820	2,812	2,888	2,796	2,468
保育室利用者		2	0	6	2	3	7
セミナー室5利用者(女性キャリアセンター除く)		0	10	0	0	7	6
相談(面接、専門)		8	13	9	11	7	4
フェスティバル(2月)							
女性就業相談担当来所者		345	393	383	392	301	319
合 計		10,256	7,774	8,283	8,113	6,789	6,603

区 分		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
貸出施設	セミナー室1	1,007	1,001	720	594	767	742	9,163
	セミナー室2	779	796	798	380	670	479	7,963
	セミナー室3	592	488	349	332	426	393	5,182
	セミナー室4	532	469	604	317	354	364	4,899
	視聴覚セミナー室	263	338	276	366	562	536	7,300
	和室	192	288	228	106	131	99	1,880
	準備室	72	82	50	42	39	64	890
	小 計	3,437	3,462	3,025	2,137	2,949	2,677	37,277
情報ライブラリー (入室者数)		1,923	1,620	1,394	1,489	1,631	992	18,306
(開放端末利用者数)		(22)	(24)	(13)	(18)	0	0	(312)
フリースペース等利用者数		2,917	2,739	2,613	2,539	2,613	2,832	32,996
保育室利用者		10	24	3	1	15	4	77
セミナー室5利用者(女性キャリアセンター除く)		0	0	0	0	0	10	33
相談(面接、専門)		8	8	3	3	7	4	85
フェスティバル(2月)						962	0	962
女性就業相談担当来所者		355	284	277	252	274	268	3,843
合 計		8,650	8,137	7,315	6,421	8,451	6,787	93,579

(2) 1日当たり延べ利用者数（令和7年3月末）



(3) 貸出施設の月別利用率（令和7年3月末）



(4) 貸出施設別利用率（令和7年3月末）

施設名	利用率
セミナー室1	76.3%
セミナー室2	66.0%
セミナー室3	81.4%
セミナー室4	80.2%
視聴覚セミナー室	43.6%
和室	33.4%
準備室1	38.1%
準備室2	35.2%
平均利用率	56.6%

2 情報収集・提供事業

(1) 情報ライブラリーの運営

ア 男女共同参画社会実現に資する図書資料等の収集と提供

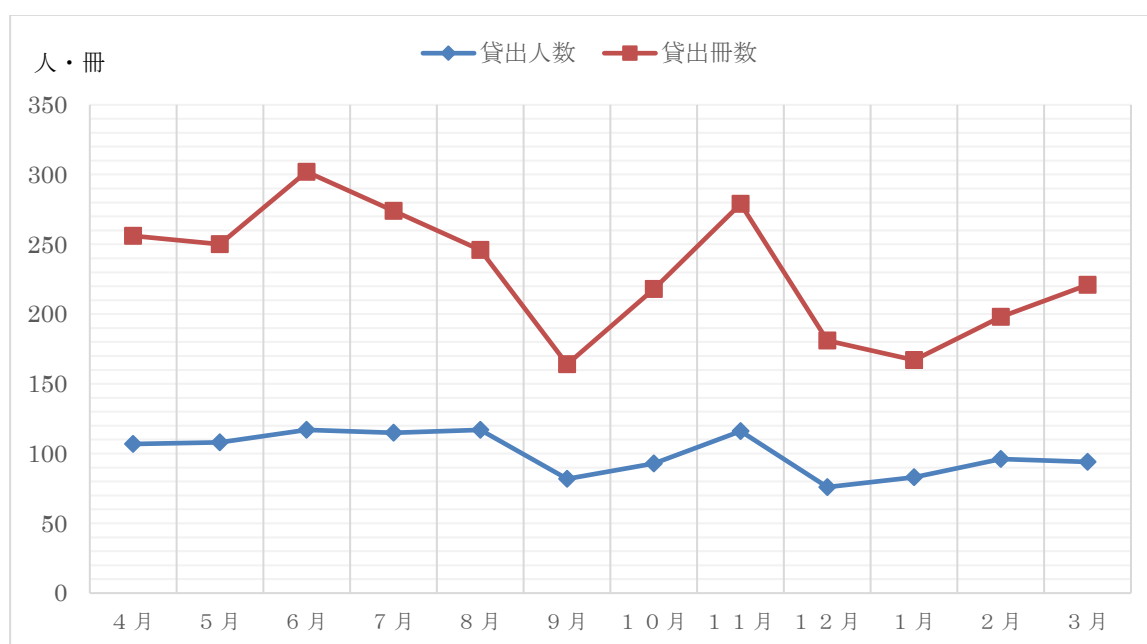
イ 県、市町村、活動団体等の関連資料の収集と提供

ウ 社会の現状や時流を反映した資料等の収集と提供

(ア) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出人数	107	108	117	115	117	82	93	116	76	83	96	94	1,204
貸出冊数	256	250	302	274	246	164	218	279	181	167	198	221	2,756

一人当たりの貸出冊数 2.2 冊



(イ) 新規登録者 142 人 (令和 7 年 3 月末)

(ウ) インターネット (ネットワーク検索コーナー) 利用者数
延べ 312 名 (令和 7 年 3 月末)

(エ) 図書等の所蔵内訳 (令和 7 年 3 月末)

分 類		冊 数	割合
総 記 (0 類)		584	1.9%
哲 学 (1 類)		1,655	5.5%
歴 史 (2 類)		1,897	6.3%
社会科学 (3 類)	社会 (360)	10,808	36.1%
	その他	4,638	15.5%
自然科学 (4 類)		2,055	6.9%
技 術 (5 類)		1,105	3.7%
産 業 (6 類)		302	1.0%
芸 術 (7 類)		2,034	6.8%
言 語 (8 類)		214	0.7%
文 学 (9 類)		4,320	14.4%
行政資料 (G 類)		366	1.2%
合 計		29,978	100%

※上記のうち、視聴覚資料 (VHS, DVD) が 123 点。

※分類には日本十進・分類法 (第 9 版) を使用

※行政資料には独自の分類を使用

エ センターで実施する各種事業との連携と関連情報の発信

(ア) 企画展示の実施

主催事業にあわせ、関連する資料を蔵書から選んで展示した。

4 月 - 5 月	新着図書展示
5 月 - 7 月	男女共同参画週間 関連図書
6 月	時代の先駆者たち 関連図書
7 月	スポーツとジェンダー 関連図書
8 月	女性リーダー応援講座 関連図書
9 月 - 10 月	男性によるトークセッション 男女共同参画の視点で考える防災 関連図書
11 月	女性に対する暴力をなくす運動 DV 防止フォーラム 関連図書
12 月	多様な性知っていますか? 関連図書
12 月 - 2 月	第 23 回 With You さいたまフェスティバル講演会 関連図書
2 月 - 3 月	国際女性デー 関連図書

(イ) 情報ライブラリー通信「Bookmark」の発行

新着図書や講演会等関連図書を広く紹介するため、職員及びサポートスタッフによるブックレビューをホームページに掲載した。

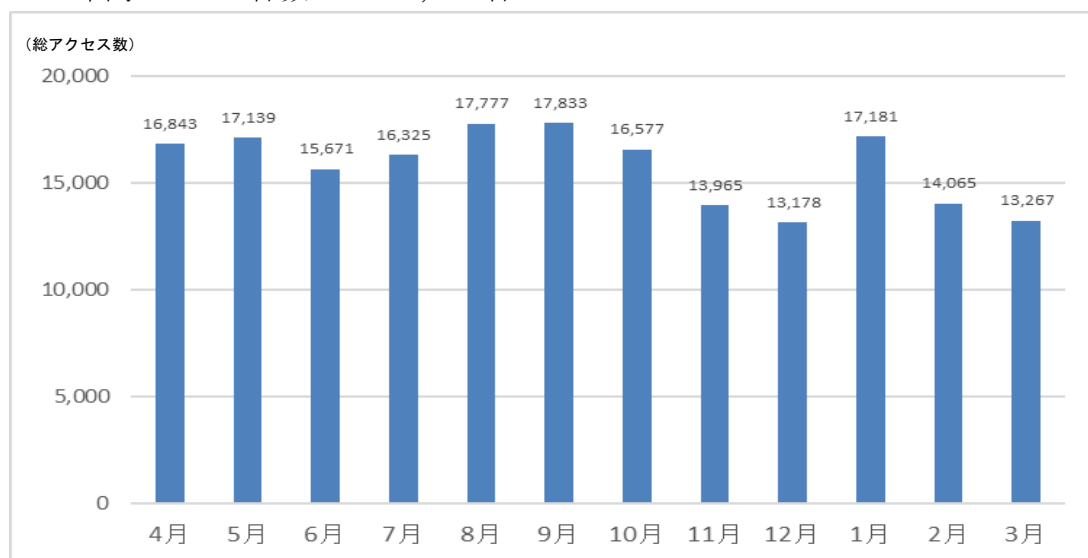
発行月 6月、9月、12月、3月

(2) インターネットによる情報発信

ホームページで施設利用に関する情報やセンターの事業案内、男女共同参画社会実現に資する情報などを提供した。また、令和2年11月1日からはSNS (Facebook) を開設し、情報発信を充実させた。

◎令和6年度ホームページアクセス数

年間アクセス件数 189,821件



(3) 広報紙の発行

男女共同参画推進のための情報、トピックス、センターのPR、講座・催し物等の事業案内などを掲載した広報紙「With You さいたま」を発行した。

ア 仕様、発行月 A4判6ページ、4色刷り 7月、11月及び3月

イ 発行部数 5,000部

ウ 配布先 県及び県関係機関、市町村、国、都道府県、登録団体、サポートスタッフなど約1,200か所

エ 特集テーマ

- ・令和6年 7月(vol.74)「ジェンダー主流化ってなんですか？」
- ・令和6年11月(vol.75)「『男らしさ』と男尊女卑依存症社会」
- ・令和7年 3月(vol.76)「『メディアとジェンダー』ルッキズムを考える」

(4) 男女共同参画パネルの作成及び貸出し

男女共同参画社会づくりに向けた啓発の一環として、イラストで分かりやすく解説した24種類のパネルを主催事業に合わせて館内に掲示するとともに、県内市町村や団体へ貸出しを行った。

ア パネル一覧

	パネル名	内 容	サイズ	枚数
1	男女共同参画パネル	「埼玉県男女共同参画基本計画」を中心に埼玉県の現状と課題、「埼玉県男女共同参画推進条例」の基本理念や男女共同参画社会の目指すもの等をイラストやグラフを使って紹介。	A2 判	11
2	ドメスティック・バイオレンス (DV)	DVとはどういうことか、どのような問題があるのか等についてイラストやグラフを使って説明。(令和5年度作成)	A2 判	10
3	男女共同参画社会基本法	男女共同参画社会基本法の前文から第20条までをイラストで逐条解説。	A2 判	22
4	埼玉県男女共同参画推進条例	平成12年3月24日、全国に先駆けて公布された、埼玉県男女共同参画推進条例を、イラストを使って説明	A2 判	17
5	お母さんが語る「女子差別撤廃条約」	女子差別撤廃条約の前文から第16条までをイラストを使って説明。	B2 判 A3 判	18
6	男女共同参画の視点から考える表現ガイド	平成30年3月に埼玉県男女共同参画課が作成した「男女共同参画社会の視点から考える表現ガイド～よりよい表現をめざして～」をパネル化したもの。条例や趣旨、目的を紹介。	A2 判	14
7	統計に見る女性の「仕事」と「生活」のいま	現在の「仕事」と「生活」に関する、全国や埼玉県と特徴をグラフやイラストを使ってまとめたもの。(令和5年度更新)	A2 判	16
8	日本女性はどうか生きてきた?	古代以前から、平成までの女性の歴史を、イラストを使ってまとめたもの。「ジェンダーから見た日本の歴史」(明石書店)をもとにしている。	A2 判	15
9	障害と女性	障害を持った女性は「障害がある」「女性である」ことにより複合的な困難を抱え、差別を受けることがある。彼女たちの声を聞き、これからの男女共同参画社会のビジョンを考えたもの。	A2 判	8
10	つ・ぶ・や・き	何気ないつぶやきの中に自分の本当の気持ちが隠れていたりするものである。日常生活での様々な「つ・ぶ・や・き」を取り上げたもの。	A2 判	8
11	災害と男女共同参画	災害時には多くの女性が困難な状況に置かれる。被災から復興のスタートまでに浮き彫りになった、男女共同参画の課題とこれから目指す社会を考察したもの。	A2 判	10
12	南極 DAYS -日本人初の女性越冬体験記-	南極では、日本と変わらない生活を送るために花見をしたり、バーカウンターを置くなど多くの工夫をしている。東野陽子さんへの取材と実際に南極で撮影された写真で知られざる南極の生活を紹介。	A2 判	12
13	知っていますか? デートDV	平成24年11月に埼玉県男女共同参画推進課が作成した「知ってますか? デートDVー素敵な関係を作る大事な約束ー」をパネル化したもの。デートDVとは何か? を若者向けにマンガを使い説明。	A2 判	9

14	男性を取り巻く環境	男女共同参画について男性視点から捉えたパネル。男性を取り巻く環境を、アンケートや男性に係る統計から考察し、男女共同参画社会の実現へ向けた、男性の意識改革を呼びかけている。	A2 判	13
15	荻野吟子の生涯	熊谷市教育委員会が作成し、平成25年6月に公開したものを、With You さいたまが許可を得て再編集したパネル。埼玉県出身で日本公認の女性医師第1号である荻野吟子の生涯を説明。	A2 判	17
16	デートDV防止啓発ポスター	埼玉県と十文字学園女子大学が連携し作成したパネル。交際する相手との間でおこる、ドメスティック・バイオレンス（デートDV）について、若者視点で注意を呼びかけている。	A2 判	6
17	スポーツと女性	近年女性アスリートの活躍は目を見張るものがある。一方で女性ならではの課題も見えてきた。女性がスポーツ分野でより活躍するためには何が必要であるか、オリンピックをキーワードに考えてみようと呼びかけている。	A2 判	11
18	”わたしの”防災対策	災害時には自然現象の規模とともに、受け止める私たちの社会の在り方が被害の大きさを変えていく。大切な命を守り、被害を少しでも減らすために、日頃からできることについて紹介している。	A2 判	11
19	考えよう！わたしたちの働き方・暮らし方	男女が共に仕事と家庭等の両立ができる暮らしやすい社会の実現のために、仕事生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）の視点から、これからの働き方・暮らし方についての意識改革を呼びかけている。	A2 判	10
20	わたしたちの声をもっと社会へ	女性が参政権を獲得してから70年を経た現在、働き方・子育て・介護・防災など、日々の暮らしは政治に直結しているにもかかわらず、政治分野での男女の差は大きなままである。多様な声を社会に届けるために、ひとりひとりができることを考えてみようと呼びかけている。	A2 判	11
21	Women 現代の吟子たちに聞く	荻野吟子は多くの困難を乗り越え、日本で最初の公認女性医師になった人物。埼玉県では、荻野吟子の不屈の精神を今に伝える先駆的な活動などを通じて、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体等に「埼玉県荻野吟子賞」を贈っている。同賞を受賞された方へのインタビューを通し自分らしく生きるためのヒントや様々な苦労や壁にぶつかる中でどのように乗り越えたか等を紹介している。（令和6年度更新）	A2 判	20
22	セクシュアルハラスメントのない社会へ	セクシュアルハラスメント等あらゆるハラスメント（いやがらせ）は、個人としての尊厳を傷つける重大な人権侵害である。互いを認め合い、ハラスメントがない社会をつくるために、ひとりひとりが出来ることは何かを考えようと呼びかけている。	A2 判	13

23	わたしたちは性犯罪・性暴力を許さない	性犯罪・性暴力は、人としての尊厳や人権を傷つける重大な犯罪である。にもかかわらず、社会にある誤解や偏見によって被害者の落ち度が問われることがあり、被害者を一層苦しめる。パネルでは、一人ひとりが、性暴力とは何かを知り、“性を傷つけることは、暴力であり犯罪である”という認識を根付かせようと呼びかけている。(令和5年度更新)	A2判	13
24	多様な性 知っていますか？	わたしたちは、一人ひとり異なる自分らしさを持っている。その一つが「性」であり、性はグラデーションのように多様である。多様な性を知り、誰もが自分らしく生きられる社会をつくるためにできることは何か考えてみようと呼びかけている。	A2判	11

サイズ A2判 (60.5cm×43cm)
A3判 (30.5cm×42.7cm)
B2判 (52.5cm×73.5cm)

イ 貸出実績 (PDF データ貸出含む) 延べ1,433日間 91団体

種類	合計貸出期間	利用者数
男女共同参画パネル	88日間	4団体
ドメスティック・バイオレンス	156日間	9団体
男女共同参画社会基本法	0日間	0団体
埼玉県男女共同参画推進条例	0日間	0団体
お母さんが語る「女子差別撤廃条約」	0日間	0団体
男女共同参画の視点から考える表現ガイド	13日間	1団体
統計に見る女性の「仕事」と「生活」のいま	149日間	4団体
日本の女性はどう生きてきた？	10日間	1団体
障害と女性	91日間	2団体
つ・ぶ・や・き	5日間	1団体
災害と男女共同参画	110日間	7団体
南極DAYS	0日間	0団体
知っていますか？デートDV	116日間	9団体
男性を取り巻く環境	82日間	6団体
荻野吟子の生涯	28日間	2団体
デートDV防止啓発ポスター	10日間	1団体
スポーツと女性	49日間	4団体
“わたし”の防災対策	171日間	18団体
考えよう！わたしたちの働き方・暮らし方	30日間	3団体
わたしたちの声をもっと社会へ	80日間	1団体
Women 現代の吟子たちに聞く	54日間	4団体
セクシュアルハラスメントのない社会へ	50日間	3団体
わたしたちは性犯罪・性暴力を許さない	94日間	6団体
多様な性 知っていますか？	47日間	5団体

(5) 利用者懇談会

センターの事業運営や施設について、利用者の立場からの意見や要望等を聞き、男女共同参画社会づくりのための総合拠点施設としての機能充実と有効利用を図るため、利用者懇談会を開催した。

ア 委員名簿

氏 名	所属団体等
青柳 智江	With You さいたま サポートスタッフ
新井 純子	合同会社のら 代表社員
佐藤 志穂	坂戸市勤労女性センター 所長
○田村 佳代子	一般社団法人ガールスカウト埼玉県連盟 連盟長
根岸 啓之	羽生市人権推進課 課長
◎藤田 佳代子	目白大学看護学部看護学科 准教授（令和6年7月まで）
古堂 達也	にじーず埼玉 代表
渡部 まゆみ	さいがい・つながりカフェ 代表者
渡辺 美穂	独立行政法人国立女性教育会館 研究国際室長

◎委員長 ○副委員長

（敬称略 五十音順）

イ 会議開催日時

（第1回）令和6年9月5日（木）

（第2回）令和7年3月13日（木）

会議の概要は、センターホームページで公表した。

3 相談事業

(1) 相談受付状況 (令和7年 3月31日現在)

ア 相談種類及び相談内容別受付状況

	生き方	こころ	からだ・性	夫婦	家族・親族	人間関係	DV	仕事	暮らし	その他	計	う ち 性 的 マ イ ノ リ テ ィ に 関 する 相 談
電話相談	603	1,933	549	863	1,693	1,183	1,656	353	427	1,190	10,450	20
面接相談	2	1	0	0	5	0	17	2	2	1	30	0
専門相談※ ¹	22	22	38	79	22	12	51	19	2	20	287	0
インターネット相談	0	2	0	40	16	7	49	0	3	3	120	0
グループ相談	0	0	0	0	0	0	72	0	0	0	72	0
メタバース個別相談	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
合 計	627	1,958	587	982	1,739	1,203	1,845	374	434	1,215	10,964	20

※1 法律相談・カウンセリング・男性相談。

※2 性的マイノリティに関する相談は、H28.8から統計を開始した。

イ 年代別・相談内容別受付状況

下段は、男性からの相談件数(再掲)

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	計
生き方	1	171	70	104	136	68	46	31	627
	0	21	40	4	16	22	0	0	103
こころ	1	170	475	578	453	149	46	86	1,958
	0	8	169	6	38	24	0	3	248
からだ・性	17	58	74	159	178	31	58	12	587
	12	9	19	6	34	4	8	5	97
夫婦	0	22	172	262	257	201	40	28	982
	0	6	46	57	41	39	8	9	206
家族・親族	18	74	160	366	600	345	131	45	1,739
	4	11	26	9	42	90	9	12	203
人間関係	0	93	137	336	396	148	47	46	1,203
	0	22	20	9	10	9	3	2	75
DV	11	142	442	511	381	124	57	177	1,845
	1	14	43	54	41	7	4	6	170
仕事	1	41	68	99	104	35	7	19	374
	0	8	19	5	8	4	0	2	46
暮らし	3	48	39	139	99	47	39	20	434
	1	5	17	4	29	13	3	1	73
その他	5	52	299	171	200	80	47	361	1,215
	2	4	115	11	6	22	11	73	244
計	57	871	1,936	2,725	2,804	1,228	518	825	10,964
	20	108	514	165	265	234	46	113	1,465

ウ 相談の特徴

令和 6 年度の相談件数は 10,964 件で、前年度 8,061 件に比べて 2,903 件増加した。

相談内容を主たる相談項目ごとに分けると、最も多いのは、「こころ」に関する相談で、1,958 件（全体の 17.86%）、次いで「DV」に関する相談が 1,845 件（全体の 16.83%）、「家族・親族」に関する相談が 1,739 件（全体の 15.86%）となっている。

世代別にみる相談件数の割合では、50 歳代の方からの相談が全体の 25.57%と最も多かった。次いで 40 代が 24.85%であった。

また、男性からの相談は 1,465 件（全体の 13.36%）となり、前年度 1,158 件に比べて 307 件増加している。

（2）男性相談員による男性のための電話相談

性自認を含む男性を対象に、埼玉県公認心理師協会の協力により男性相談員による電話相談を月 2 回行った。

なお、令和 3 年度までは月 1 回実施だったところ、4 年度から月 2 回とした。令和 6 年度は 232 件の相談があった。

ア 開催日時

毎月第 1、3 日曜日 11:00～15:00

イ 相談内容

相談内容を主たる相談項目ごとに分けると、最も多いのは、「夫婦」に関する相談で、58 件（全体の 25.00%）、次いで「からだ・性」に関する相談 33 件（全体の 14.22%）、「こころ」に関する相談が 24 件（全体の 10.34%）となっている。

相談者の年代は、30 代が 59 件（全体の 25.43%）、次いで 40 代が 49 件（全体の 21.12%）となっている。

「男性のための電話相談」主訴別・年代別一覧

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代～	不明	合計
生き方	0	5	14	2	0	0	0	21
こころ	0	1	14	2	4	3	0	24
からだ・性	11	6	4	2	3	4	3	33
夫婦	0	2	3	29	10	7	7	58
家族・親族	0	0	7	1	3	5	1	17
人間関係	0	4	1	6	4	4	0	19
DV	0	2	5	4	1	3	1	16
仕事	0	7	7	2	1	1	2	20
暮らし	0	0	1	0	2	0	0	3
その他	0	1	3	1	0	7	9	21
合計	11	28	59	49	28	34	23	232

(3) グループ相談

埼玉県内の女性弁護士等専門職有志と連携し、カフェ形式のグループ相談を行った。

ア 開催日時

令和6年 5月 19日 (日) 13:00～15:30

令和6年 9月 8日 (日) 13:00～15:30

令和7年 1月 19日 (日) 13:00～15:30

イ 内容

参加者が気軽に悩みを相談できる場として、弁護士、相談員、フェミニストカウンセラー、社会福祉士などが、参加者が抱える悩みに適切な情報を提供し、共有した。

ウ 参加人数 72人

(4) デートDV防止講座

お互いに相手を尊重する関係を築き、個人の尊厳を傷つける暴力は許さないという意識の醸成に向け、若年者を対象に啓発を行いDVを未然に防止するため、県内の高等学校等を対象にデートDV防止講座を開催した。

ア 開催日時

7月～12月 全5校

イ 内容

高等学校等へ講師を派遣し、生徒にデートDV防止講座を実施した。講座後にデートDV防止に関する教職員と講師との意見交換を実施した。

講師：西山さつき氏、栄田千春氏（NPO法人レジリエンス）

ウ 参加人数 1,166人

(5) 女性に対する暴力をなくす運動（令和6年11月12日（火）～25日（月））

国が行う女性に対する暴力をなくす運動に関連してキャンペーン等を行った。

ア パープルリボンキャンペーン

(ア) 巡回期間

令和6年8月1日（木）～令和7年3月13日（木）

(イ) 女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンをモチーフにしたタペストリーを県内34市町とWith You さいたまで巡回展示を行った。

イ パープル・ライトアップ

(ア) 開催日時

令和6年11月12日（火）～11月25日（月）

(イ) 内容

女性に対する暴力をなくす運動期間中に、パープルリボンにちなんで、館内を紫色にライトアップした。

また、隣接する小児医療センターにおいても「カリヨンの鐘」ライトアップの協力を得た。

(6) DV防止フォーラム

配偶者・パートナー等からの精神的・身体的暴力、ストーカー行為等あらゆる暴力の根絶を目指し、県民等の意識啓発を図るため、フォーラムを開催した。

ア 開催日時

令和6年11月24日（日）13:00～16:00

イ 内容

第1部 基調講演「心理的DVとその影響」

講師 小西聖子氏（武蔵野大学 副学長/人間科学部 教授）

第2部 対談「トラウマからの回復に必要なこと」

登壇者 小西聖子氏/西山さつき氏（NPO法人レジリエンス 代表）

ウ 参加人数 会場参加 41 人
配信動画申込者数 117 人 視聴回数 178 回

(7) 性暴力防止セミナー※さいたま市との共催事業

ア 実施日時

動画配信 令和 6 年 8 月 1 日 (木) から令和 6 年 8 月 31 日 (土) まで

イ 内容

講演 「性的同意について考えよう」

講師 櫻井 裕子氏 (助産師、思春期保健相談士、思春期学会性教育認定講師
看護専門学校・助産専門学校非常勤講師)

ウ 参加人数 配信動画申込者 482 人 視聴回数 549 回 (さいたま市配信)

(8) 困難女性支援事業セミナー・グループ相談会

回数	開催日時	内容	参加人数
第 1 回	R6. 9. 23(月) 13:00～16:00 (会場: ウェスタ川越)	セミナー「わたしのからだは、わたしのもの」 講師 高橋 幸子氏 (産婦人科医)	11 人
		グループ相談会 「自分を知り、自分を大好きになる ～選択肢を知り、自分でつかみとる～」	7 人
		ユースクリニック	18 人
第 2 回	R6. 10. 25(金) 13:00～16:00 (会場: ほっと越谷)	セミナー「わたしの怒りと暴力」 講師 NP0 法人パープルネットさいたま びーらぶインストラクター	13 人
		グループ相談会 「自分の気持ちや、体の感覚を感じる」	13 人
		ベリーダンス体験	11 人
第 3 回	R6. 11. 2(土) 13:00～16:00 (会場: 聖学院大学)	セミナー「わたしのからだは、わたしのもの」 講師 高橋 幸子氏 (産婦人科医)	11 人
		グループ相談会 「自分を知り、自分を大好きになる ～選択肢を知り、自分でつかみとる～」	0 人
		ユースクリニック	48 人
第 4 回	R7. 1. 18(土) 13:00～16:00 (会場:With You さいたま)	セミナー「わたしらしく生きる」 講師 今村 美佳子氏 (株式会社ブルージュ代表取締役)	12 人
		グループ相談会 「安心、安全に、わたしらしく」	11 人
第 5 回	R7. 2. 16(日) 13:00～16:00 (会場:With You さいたま)	セミナー「わたしのからだは、わたしのもの」 講師 高橋 幸子氏 (産婦人科医)	14 人
		グループ相談会 「自分を知り、自分を大好きになる ～選択肢を知り、自分でつかみとる～」	11 人
		ユースクリニック	27 人

第 6 回	R7. 2. 23(日) 13:00～16:00 (会場: With You さいたま)	セミナー「わたしの怒りと暴力」 講師 NPO 法人パープルネットさいたま びーらぶインストラクター	14 人
		グループ相談会 「自分の気持ちや、体の感覚を感じる」	13 人
		ベリーダンス体験	13 人

(9) メタバース相談事業（個別相談&交流会）

埼玉県が運営するメタバース空間「バーチャル埼玉」を利用して、「あばたー相談（個別相談）」、「あばたー広場（交流会）」を実施した。

ア あばたー相談（個別相談）

(ア) 開催日時

令和 6 年 10 月 23 日(水)10:00～12:00

令和 6 年 12 月 18 日(水)10:00～12:00

令和 7 年 2 月 5 日(水)10:00～12:00

(イ) 内容

ひとりでは解決できない悩みや不安が軽減、解消できるように臨床心理士が個別に相談対応する。

(ウ) 参加人数 4 人

イ あばたー広場（交流会）

(ア) 開催日時

令和 6 年 11 月 6 日(水)17:00～19:00

令和 7 年 1 月 8 日(水)17:00～19:00

令和 7 年 3 月 5 日(水)17:00～19:00

(イ) 内容

同じような悩みを抱えた女性同士で語り合い、不安や孤立を解消し、「心の孤立を防ぐ居場所」になるような交流会。

(ウ) 参加人数 5 人

4 講座・研修事業

(1) 男女共同参画週間講演会

「誰もが生きやすい社会のために～ジェンダー感覚をアップデート！」

ア 開催日時

令和 6 年 6 月 30 日（日）13:30～15:30

イ 内容

講演「誰もが生きやすい社会のために～ジェンダー感覚をアップデート！」

講師 アルテイシア氏（作家）

ウ 参加人数 231 人（会場参加者 52 人 動画配信 179 人）

(2) 男性によるトークセッション「男らしさと男尊女卑依存症社会」

ア 開催日時

令和 6 年 10 月 5 日（土）13:30～15:30

イ 内容

講師 武田砂鉄氏（ライター）

斉藤章佳氏（西川口榎本クリニック副院長、精神保健福祉士、社会福祉士）

ウ 参加人数 622 人（会場参加者 109 人 動画配信 513 人）

(3) ジェンダー主流化の推進

・ジェンダー主流化トップセミナー

ア 開催日時

令和6年10月21日(月) 10:00~12:00

イ 内容

○挨拶 「埼玉県におけるジェンダー主流化の推進」

大野元裕知事

○講演 「ジェンダー主流化に向けた課題

～ジェンダー主流化と多様性/ダイバーシティの推進に向けて」

講師 萩原なつ子氏(独立行政法人国立女性教育館理事長)

ウ 参加人数 156人 うち動画配信 70人

・市町村長向けジェンダー主流化トップセミナー

市町村長に10/21開催のセミナーの動画を配信(令和6年11月28日)

・ジェンダー主流化実務者向けセミナー

ア 開催日時

令和6年11月28日(木) 14:00~16:30

イ 内容

講義(1)「ジェンダー主流化とは」

講師 With You さいたま事業コーディネータ

講義(2)「埼玉県の取組について」

講師 人権・男女共同参画課、災害対策課、農業支援課、公園スタジアム課職員

コメント(録画) 齋藤有希氏(独立行政法人国際協力機構(JICA)バングラデシュ事務所)

講義(3)「企業の取組について」

講師 柴野壮史氏

(白十字株式会社商品開発本部マーケティング部ヘルスケアブランディング課長)

ウ 参加人数 117人 うち動画配信 85人

(4) DV防止フォーラム [再掲]

ア 開催日時

令和6年11月24日(日) 13:00~16:00

イ 内容

第1部 基調講演「心理的DVとその影響」

講師 小西聖子氏(武蔵野大学 副学長/人間科学部 教授)

第2部 対談「トラウマからの回復に必要なこと」

登壇者 小西聖子氏/西山さつき氏(NPO法人レジリエンス 代表)

ウ 参加人数 158人 うち動画配信 117人

(5) フェスティバル講演会

「アニメ・キャラクターのジェンダー観～これまでとこれから～」

ア 開催日時

令和7年2月2日(日) 14:00~16:00

イ 内容

講演「アニメ・キャラクターのジェンダー観～これまでとこれから～」

講師 須川亜紀子氏(横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授)

ウ 参加人数 会場参加者 105人 ※動画配信なし

(6) 女性リーダー応援講座

ア 開催日時 令和6年8月25日(日)～令和7年1月18日(土)(全6回)

イ 内容 講義や活動事例報告、グループワーク等を通して学び、最終日に成果をマイプランにまとめて発表した。

ウ 参加人数 延べ221人(会場参加者 86人 動画配信 135人)

開催日時	内容	参加者
[1] R6. 8. 25(日) 13:30～15:30	【スタートアップ公開講座】 [再掲] ○講義「今は時代の転換期、なりたい自分になるために！」 講師 大槻奈巳氏(聖心女子大学現代教養学部人間関係学科教授)	122人 (会場 22人) (動画 100人)
[2] R6. 9. 14(土) 12:30～17:00	○開講式 ○講義1「男女共同参画基礎講座-男女共同参画社会基本法成立から25年-」 講師 当センター事業コーディネータ ○講義2「埼玉県における男女共同参画の取組」 講師 県人権・男女共同参画課 職員 ○講義3「女性の政策・意思決定過程への参画」 講師 皆川満寿美氏(中央学院大学現代教養学部 准教授) ○交流 修了生の活動報告 ○課題学習 ※講義内容等を踏まえ、グループに分かれて意見交換を実施	18人 (会場 12人) (動画 6人)
[3] R6. 10. 19(土) 13:30～16:30	○講義「災害・防災と男女共同参画」 講師 当センター事業担当専門員 ○交流 修了生の活動報告 ○課題学習 ※避難所運営の課題への対応について、グループで意見交換を実施	21人 (会場 16人) (動画 5人)
[4] R6. 11. 10(日) 13:30～16:30	○講義「困難な問題を抱える女性への支援」 講師 杉田真衣氏(東京都立大学人文社会学部人間社会学科准教授) ○交流 修了生の活動報告 ○課題学習 ※講義の感想についてグループで意見交換を実施	16人 (会場 12人) (動画 4人)
[5] R6. 12. 21(土) 13:00～16:30	○講義1「NPO運営等を楽しく学ぼう」 講師 永沢映氏(公益財団法人いきいき埼玉理事長) ○講義2「創業に当たっての支援」 講師 井上 崇氏(創業ベンチャー支援センター埼玉 創業・取引支援部創業支援グループリーダー) ○講義3「起業した女性経営者による事例発表」 講師 塚田敬子氏(合同会社つくりえ代表) ○交流 修了生のグループ活動報告 ○課題学習 ※「自分がやれること」についてグループで意見交換を実施	24人 (会場 11人) (動画 13人)

[6] R7. 1. 18(土) 12:30～ 16:30	○講義「ファシリテーションの基礎と実践」 講師 大枝奈美氏(有限会社アトリエウェイブ代表取締役 コミュニティファシリテーター) ○課題学習 ※各受講者のマイプランの発表 ○修了式	20人 (会場 13人) (動画 7人)
--	--	----------------------------

(7) 市町村職員研修

ア 初任者研修

(ア) 開催日時

令和6年4月26日(金) 10:00～16:20

(イ) 内容

○講義(1)「男女共同参画を進めるための基礎知識」

講師 With You さいたま事業コーディネータ

○講義(2)「アンコンシャスバイアスについて」

講師 With You さいたま事業コーディネータ

○講義(3)「ジェンダー主流化について」

講師 埼玉県県民生活部 人権・男女共同参画課職員

○講義(4)「性の多様性について」

講師 埼玉県県民生活部 人権・男女共同参画課職員

○グループワーク

進行 With You さいたま事業コーディネータ

○地域研修について

事例発表 羽生市総務部地域振興課地域振興係 小野田氏

○With You さいたまの紹介

講師 With You さいたま男女共同参画職員・専門員

○館内ツアー(希望者のみ)

(ウ) 参加人数 会場参加者 41人 ※動画配信なし

イ 課題別研修(各種講演会を位置付け)

開催日時	内容	市町村職員参加人数
R6. 6. 30(日)	男女共同参画週間講演会	15人 うち動画視聴 15人
R6. 10. 5(土)	男性によるトークセッション	16人 うち動画視聴 16人
R6. 11. 24(日)	DV防止フォーラム	9人 うち動画視聴 7人
R7. 2. 2(日)	フェスティバル講演会(動画配信なし)	2人

課題別市町村職員参加人数計 42人

うち動画視聴 38人

ウ 地域別研修

・埼葛地区人権教育推進協議会

(ア) 開催日時

令和6年7月9日(火) 14:20～15:30

(イ) 内容

出前講座講義「災害・防災と男女共同参画」

講師 With You さいたま男女共同参画専門員

(ウ) 参加人数 104 人 (うち市町村職員 49 人)

・児玉郡町議会議長会

(ア) 開催日時

令和 6 年 8 月 1 日 (木) 14:30~16:15

(イ) 内容

出前講座講義「災害・防災と男女共同参画」

講師 With You さいたま男女共同参画専門員

(ウ) 参加人数 43 人 (うち市町村職員 10 人)

エ 女性支援・DV被害者支援担当者研修

(ア) 基礎研修 全 3 日 参加人数 271 人

(イ) 実務研修 全 2 日 参加人数 97 人

(ウ) 応用研修 全 1 日 参加人数 74 人

(エ) 地区別専門研修 全 4 回 参加人数 88 人

(8) 性暴力防止セミナー ※さいたま市との共催事業 [再掲]

ア 実施日時

動画配信 令和 6 年 8 月 1 日 (木) から令和 6 年 8 月 31 日 (土) まで

イ 内容

講演 「性的同意について考えよう」

講師 櫻井 裕子氏 (助産師、思春期保健相談士、思春期学会性教育認定講師
看護専門学校・助産専門学校非常勤講師)

ウ 参加人数 動画配信 482 人 (さいたま市配信)

(9) 共催・連携事業

・埼玉弁護士会との共催講座 (女性のための法律講座&相談会)

ア 開催日時

(ア) 令和 6 年 11 月 8 日 (金) 13:00~16:00

(イ) 令和 7 年 3 月 7 日 (金) 13:00~16:00

イ 内容

(ア) 講義「離婚について」

講師 総論 木村 綾菜氏 (弁護士)

実務 佐藤 有紗氏 (弁護士)

(イ) 第 1 部 講義「離婚一般について」

講師 池田 味佐氏 (弁護士)

第 2 部 分科会

「子に関すること」 講師 黒田 典子氏 (弁護士)

「財産分与について」 講師 角谷 史織氏 (弁護士)

「慰謝料について」 講師 佐藤 有紗氏 (弁護士)

ウ 参加人数 (ア) 会場参加者 26 人 ※動画配信なし

(イ) 会場参加者 16 人 ※動画配信なし

・小児医療センター共催講座

県民のための医療セミナー2024

「第35回記念セミナー てんかん教室 ～未来を見すえた小児てんかん医療を求めて～」

ア 開催日時 令和 6 年 11 月 9 日 (土) 13:00~16:45

イ 内容

講義(1)「わたしのてんかん、みんなのてんかん」
講義(2)「てんかんの診断から治療まで」
講義(3)「発作時の対応と家庭・集団生活での配慮」
講義(4)「こどものてんかんと発達障害 ～自分とつきあっていくこと～」
講義(5)「難治性てんかん、発達障害をもつてんかん児の薬剤選択」
講義(6)「成人移行の準備と留意点」
講師 埼玉県立小児医療センター 医師・看護師・臨床心理士等

ウ 参加人数 会場参加者 122 人 ※動画配信なし

- ・埼玉大学（ダイバーシティ推進センター）との連携プログラム
「ダイバーシティ社会を作る 埼玉大学・学生からのメッセージ」をテーマとした授業（講義等）及び学生による成果発表（With You さいたまフェスティバルで発表）

履修登録 7 人及び自主グループ

実施日時

ア 令和 6 年 10 月 4 日（金）16：20～17：50 3 人

「男女共同参画基礎講座」（出前講座）

イ 令和 7 年 2 月 1 日（土）14：40～16：20

学生による成果発表（With You さいたまフェスティバルワークショップ）19 人
（来場者を含む）

- ・目白大学（地域連携・研究推進センター）との連携プログラム
「ジェンダー平等 今、できることー仲間と語ろう、仲間と考えようー」

ア 令和 6 年 12 月 4 日（水）13：30～16：00 3 人

令和 6 年 12 月 13 日（金）13：30～16：00 3 人

「男女共同参画基礎講座」（出前講座）

イ 令和 6 年 12 月 24 日（火）13：30～15：30 6 人

学生同士のディスカッション

ウ 令和 7 年 2 月 1 日（土）、2 月 2 日（日）

学生チーム「にじめじ」による展示 5 人

5 自主活動・交流支援事業

（1）団体登録制度と活動支援

自主的な活動を行うボランティアや団体・グループに対する各種情報の提供など、これらの団体等が主体的に活動するための様々な支援を行うために、団体登録制度を設けている。（参考：埼玉県男女共同参画推進センター男女共同参画推進団体登録事務処理要領）

ア 登録件数 98 団体（令和 7 年 3 月末）

イ 登録団体への活動支援

（ア）情報提供

センターが主催する講演会などの案内や広報紙の送付

（イ）施設の優先予約

セミナー室等の貸出施設の予約について、4 か月前から受付
（一般利用の場合は利用日の 3 か月前から受付）。

（ウ）団体・グループ情報の発信

センターホームページ上で、団体情報や活動概要を発信する。

（エ）グループロッカーの貸出し

グループロッカーの貸出し（貸出団体数：11 団体、ロッカー：18 個）
（令和 7 年 3 月末）

(2) 活動発表コーナーの利用

3 階・4 階活動発表コーナーを展示形式による各団体等の活動発表の場として提供

利用実績 18 件 延べ日数 342 日

利用者	利用期間	利用内容
With You さいたま	4 月 13 日～ 4 月 30 日	若年層の性暴力予防月間パネル展 「知っていますか？デート DV」
With You さいたま	5 月 2 日～ 5 月 30 日	パネル 「表現とジェンダー」
農林水産省 関東農政局	6 月 10 日～ 6 月 24 日	パネル展 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝～農山漁村で生きる、農山漁村が活きる～」
With You さいたま	6 月 10 日～ 6 月 30 日	令和 6 年度男女共同参画週間パネル展
農林水産省 関東農政局	6 月 24 日～ 7 月 8 日	パネル展 「食べるって楽しい！食べるって大切！～食を考えよう～」
With You さいたま	7 月 8 日～ 8 月 16 日	パネル展 「スポーツと女性」
With You さいたま	8 月 24 日～ 9 月 6 日	女性たちの 3.11～4 コマまんが『パンジー劇場展』
農林水産省 関東農政局	8 月 1 日～ 8 月 15 日	パネル展 「関東の農業農村整備～水土里（みどり）を未来につなぐ～」
農林水産省 関東農政局	9 月 13 日～ 9 月 30 日	パネル展 「第 29 回全国棚田（千枚田）サミット in 上田」
農林水産省 関東農政局	10 月 1 日～ 10 月 16 日	パネル展 「わたしたちの食と農を支える統計調査～10 月 18 日は「統計の日」
農林水産省 関東農政局	10 月 16 日～ 10 月 31 日	パネル展 「毎年 10 月は食品ロス削減月間です～様々な取組を知り、参加・実践してみよう～」
With You さいたま	11 月 1 日～ 11 月 29 日	DV 防止フォーラム 2024 パネル展
With You さいたま	12 月 3 日～ 12 月 26 日	パネル展 「多様な性知っていますか？」
農林水産省 関東農政局	1 月 7 日～ 1 月 20 日	パネル展 「世界かんがい施設遺産 ～かんがいの歴史や先人たちの技術にふれる～」
農林水産省 関東農政局	1 月 20 日～ 1 月 29 日	パネル展 「農業遺産～関東農政局管内の農業遺産認定地域を紹介～」
農林水産省 関東農政局	2 月 10 日～ 2 月 21 日	パネル展 「2025 フラワーバレンタイン～花は自由なラブレター～」

環境部みどり自然課	2月14日～ 2月26日	写真展 第25回さいたま緑のトラスト写真・動画コンクール入賞作品展
With You さいたま	3月3日～ 3月25日	「国際女性の日」関連パネル展

(3) サポートスタッフ

県民のボランティア活動及び社会参加へのステップアップを支援するため、サポートスタッフ制度を設けている。（「埼玉県男女共同参画推進センターサポートスタッフ活動要領」参照）

- ・ 募集方法 随時募集
- ・ 19名（令和7年3月末）
- ・ 活動内容

講座、講演会等補助	受付、会場整理、会場案内、イベント補助等
情報ライブラリー図書の紹介等	情報ライブラリーの所蔵図書の書評を情報誌『Bookmark』に寄稿（年4回）
自主的な活動	センターの設置目的に沿い、自発的、自主的に活動する。

(4) ワークショップ開催事業（With You さいたまフェスティバル）

ア 開催日時 令和7年2月1日（土）、2日（日）10:00～16:30

イ 内容 「第23回 With You さいたまフェスティバル
ーつながる ひろがる 未来をつくるー」

男女共同参画社会の実現に向けて県内で活動する41の団体が日頃の活動や研究の成果を発表した。

ウ 参加者数 962人 出展参加団体 41団体

舞台 5団体・ワークショップ 18団体・展示 26団体

(5) 女性リーダー育成講座修了生オンライン交流会

各回テーマを設定し、修了生同士の意見交換を行った。

回数	日程	参加人数
第1回	R6. 5. 20(月)	11人
第2回	R6. 6. 17(月)	6人
第3回	R6. 7. 16(火)	6人
第4回	R6. 8. 19(月)	2人
第5回	R6. 9. 17(火)	4人
第6回	R6. 10. 21(月)	3人
第7回	R6. 11. 18(月)	3人
第8回	R6. 12. 16(月)	4人
第9回	R7. 1. 20(月)	6人
第10回	R7. 2. 17(月)	5人
第11回	R7. 3. 17(月)	4人
リアル交流会	R7. 3. 8(土)	8人
計	12回	62人

(6) さいがい・つながりカフェの実施（共催）

ア 開催日時 令和6年4月から令和7年3月までの毎月第2、第4木曜日
11:00～15:00

イ 内容

「さいがい・つながりカフェ実行委員会」とともに、東日本大震災被災者（埼玉県への避難者）の交流会を毎月2回（8月、12月は1回）実施した。

（平成23年9月から継続実施）

ウ 参加者数 各回15人程度

(7) 講師の派遣（県政出前講座）

男女共同参画に関する意識啓発及びセンターの周知を図るため、県内市町村等からの申請に応じ、男女共同参画専門員や相談員等のセンター職員を研修・講座等の講師として派遣した。

ア 対象者

県・市町村職員、民生委員・児童委員、大学生、高校生、一般市民等

イ 令和6年度実績 計85件 延べ受講人数 計9,287人

（ア）男女共同参画基礎講座 26件 延べ1,019人（表(ア)）

（イ）災害・防災と男女共同参画 26件 延べ1,026人（表(イ)）

（ウ）知っていますか？デートDV 33件 延べ7,242人（表(ウ)）

表(ア)：男女共同参画基礎講座 実績

	実施日	申込者（主催団体）	対象者	人数	備考
1	6月3日(月)	目白大学（看護学部看護学科）	大学生	33人	
2	6月6日(木)	川口市神根公民館	一般成人	10人	
3	6月13日(木)	川口市神根公民館	一般成人	6人	
4	6月19日(水)	埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科	大学生	21人	
5	6月26日(水)	埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科	大学生	20人	
6	7月5日(金)	羽生市人権推進課	一般成人	47人	
7	7月11日(木)	羽生市人権推進課	一般成人	87人	
8	7月22日(月)	目白大学（看護学部看護学科）	大学生	39人	
9	8月9日(金)	埼玉県消防学校	県職員（消防士）	48人	
10	8月27日(火)	大東文化大学 （スポーツ・健康科学部看護学科）	大学生	39人	
11	9月2日(月)	日本保健医療大学 （保健医療学部看護学科）	大学生	68人	
12	9月28日(土)	埼玉県消防学校	県職員 （消防団員幹部）	151人	
13	10月2日(水)	寄居町人権推進課	中学生	30人	
14	10月14日(月)	大東文化大学 （スポーツ・健康科学部看護学科）	大学生	37人	
15	10月30日(水)	富士見市人権市民相談課	富士見市職員	37人	
16	11月1日(金)	熊谷高等技術専門校	専門学校生	65人	
17	11月18日(月)	目白大学（看護学部看護学科）	大学生	37人	
18	11月22日(金)	蕨市福祉部子ども未来課	保育士	21人	
19	12月2日(月)	川越市男女共同参画課	一般成人	23人	
20	12月3日(火)	大東文化大学 （スポーツ・健康科学部看護学科）	大学生	37人	
21	12月9日(月)	吉川市教育委員会 生涯学習課	一般成人	45人	
22	1月22日(水)	坂戸市勤労女性センター	坂戸市職員	49人	

23	2月14日(金)	北本市人権推進課	北本市職員	20人	
24	2月18日(火)	小鹿野町総務課	小鹿野町職員、 町議会議員	29人	
25	3月7日(金)	生活協同組合パルシステム埼玉 組織運営部	一般成人	4人	
26	3月30日(日)	(一社) ガールスカウト埼玉県連盟	一般成人	16人	
			26件	1,019人	

表(イ)：災害・防災と男女共同参画 実績

	実施日	申込者（主催団体）	対象者	人数	備考
1	5月1日(水)	さいたま新都心バリアフリーまちづくりボランティア	一般成人	25人	
2	6月5日(水)	目白大学(看護学部看護学科)	大学生	33人	
3	6月25日(火)	上尾市男女共同参画推進センター	一般成人	25人	
4	6月27日(木)	川口市神根公民館	一般成人	8人	
5	7月4日(木)	川口市神根公民館	一般成人	7人	
6	7月9日(火)	埼玉葛地区人権教育推進協議会	埼玉葛地区 人権教育推進 協議会委員	104人	
7	7月24日(水)	白岡市生活経済部地域振興課	女性団体等	21人	
8	7月25日(木)	目白大学(看護学部看護学科)	大学生	39人	
9	7月30日(火)	坂戸・鶴ヶ島消防組合婦人防火クラブ	一般成人	17人	
10	8月1日(木)	児玉郡町議会議長会(神川町・上里町・美里町)	議員、首長、事務局職員	43人	
11	8月9日(金)	埼玉県消防学校	県職員(消防士)	48人	
12	8月28日(水)	大東文化大学(スポーツ・健康科学部看護学科)	大学生	39人	
13	9月2日(月)	日本保健医療大学(保健医療学部看護学科)	大学生	68人	
14	9月5日(木)	すぎと男女共同参画推進町民スタッフ	一般成人	18人	
15	10月2日(水)	毛呂山町総務課	一般成人 毛呂山町職員	44人	
16	10月3日(木)	春日部市教育委員会社会教育部社会教育課社会教育担当	高校生	136人	
17	10月15日(火)	大東文化大学(スポーツ・健康科学部看護学科)	大学生	37人	
18	10月23日(水)	加須市人権男女共同参画課	一般成人	28人	
19	11月12日(火)	一般社団法人医療・福祉・環境経営支援機構	一般成人	13人	
20	11月17日(日)	寄居町人権推進課	一般成人	60人	
21	11月22日(金)	目白大学(看護学部看護学科)	大学生	37人	
22	11月28日(木)	深谷市福祉政策課	一般成人	55人	
23	12月4日(水)	大東文化大学(スポーツ・健康科学部看護学科)	大学生	37人	
24	12月7日(土)	上尾市男女共同参画推進センター	一般成人	25人	
25	2月6日(木)	戸田市協働推進課	戸田市職員	51人	

26	3月9日(日)	ドット・アール	一般成人	8人	
			26件	1,026人	

表(り)：知っていますか？デートDV 実績

	実施日	申込者（主催団体）	対象者	人数	備考
1	5月10日（金）	立教大学（コミュニティ福祉学部）	2～3年生	145人	
2	6月6日（木）	目白大学（看護学科）	大学生	33人	
3	6月10日（月）	埼玉県人権擁護委員連合会	人権擁護委員	18人	
4	7月11日（木）	宮代町立前原中学校	3年生	55人	
5	7月17日（水）	川口東高等学校	1～3年生	810人	
6	7月17日（水）	狭山緑陽高等学校	1～4年生	502人	
7	7月24日（水）	目白大学（看護学科）	大学生	40人	
8	8月20日（火）	蓮田市教職員委員会（人権教育研修会）	小中学校 人権教育担当教諭	350人	
9	8月29日（木）	大東文化大学（看護学科）	大学生	40人	
10	9月3日（火）	日本保健医療大学（看護学科）	大学生	68人	
11	10月1日（火）	新座市立第六中学校	3年生	230人	
12	10月10日（木）	埼玉県人権擁護委員連合会	人権擁護委員	200人	
13	10月15日（火）	和光市立第三中学校	1年生	196人	
14	10月16日（水）	大東文化大学（看護学科）	大学生	38人	
15	10月28日（月）	岩槻商業高等学校	1～3年生	371人	
16	11月7日（木）	富士見市立富士見台中学校	3年生	190人	
17	11月11日（月）	和光国際高等学校	1年生	317人	
18	11月20日（水）	目白大学（看護学科）	大学生	40人	
19	11月28日（木）	日高市立高萩北中学校	2年生	123人	
20	12月5日（木）	大東文化大学（看護学科）	大学生	40人	
21	12月5日（木）	日高市立高麗川中学校	3年生	120人	
22	12月12日（木）	埼玉県立久喜高等学校	1～3年生	800人	
23	12月13日（金）	埼玉東萌短期大学	1年生	70人	
24	12月16日（月）	上尾高等学校定時制	1～4年生	64人	
25	12月18日（水）	日高市立高萩中学校	2年生	99人	
26	12月19日（木）	川越市立川越高等学校	1～3年生	815人	
27	2月5日（水）	所沢人権擁護委員会	人権擁護委員	39人	
28	2月10日（月）	川口市立青木中学校	1～3年生	790人	
29	2月12日（水）	朝霞地区保護司会研修部会	保護司	150人	
30	2月27日（木）	草加市立両新田中学校	2年生	175人	
31	2月28日（金）	日高市立武蔵台小中学校	3年生	40人	
32	3月4日（火）	富士見市立本郷中学校	3年生	132人	
33	3月10日（月）	富士見市立西中学校	3年生	142人	
			33件	7,242人	

（８）女性団体への活動拠点提供事業

ア 目的

県内各地の女性団体のネットワークの核となることが期待される女性団体に、男女共同参画推進センターの1室を活動の拠点として提供（使用許可）し、センターと事業

連携を行いながら、事業拡大を支援する。

イ 団体の概要

(ア) 合同会社 ままのえん

- ・ 代表 小林あゆみ
- ・ 活動理念

子育て中の女性が、眠ったスキル・能力＝資源を活かし明るくイキイキとした毎日を過ごせる社会を目指す。

(イ) 特定非営利活動法人 パープルネットさいたま

- ・ 代表 遠藤珠美
- ・ 活動理念

DV被害を受けた女性と子供が、避難後にも安心・安全に自分らしく暮らせるよう継続的自立支援や心のケアを行うことにより、女性、子供の人権の確立と男女共同参画社会の実現に寄与する。

6 調査・研究事業

令和6年度「男女共同参画社会に関する意識調査」

「男女共同参画社会」について今後の施策検討の参考にすることを目的に、主催した4講座に会場に参加した方を対象に意識調査を行い、結果を取りまとめた。

7 その他

ア 配偶者暴力相談支援センター連絡会議

県内配偶者暴力相談支援センターの意見交換、情報共有を図るため、全2回開催。
参加人数 81人

イ 女性相談支援員連絡会議

県内関係機関に所属する女性相談支援員の意見交換、情報共有を図るため、全2回開催。
参加人数 88人

令和6年度 With You さいたま イベントカレンダー

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
情報収集・提供事業		○情報ライブラリーの運営 ○企画展示 ○パネル貸出		情報ライブラリー通信 「ブックマークvol.60」6月発行	広報紙7月号発行 「With You さいたまvol.74」		第1回利用者懇談会 9/5(木) 情報ライブラリー通信 「ブックマークvol.61」9月発行		広報紙11月号発行 「With You さいたまvol.75」	情報ライブラリー通信 「ブックマークvol.62」12月発行			広報紙3月号発行 「With You さいたまvol.76」 第2回利用者懇談会 3/3(木) 情報ライブラリー通信 「ブックマークvol.63」3月発行
男女共同参画推進センター事業	相談事業	○相談事業 (電話、面接、インターネット) ○男性のための電話相談 毎月第1、3日曜日 ○カウンセリング 毎月4日曜日 ○女性のための法律相談 毎月第2木曜日、第4火曜日	グループ相談会 5/19(日)		グループ相談会 9/8(日) 配偶者暴力相談支援センター連絡会議①	性暴力防止セミナー オンライン配信 8/1(木)～8/31(土)	女性相談支援員 連絡会議①	埼玉弁護士会共催 11/8(金)	DV防止フォーラム 11/24(日)		グループ相談会 1/19(日) 配偶者暴力相談支援センター連絡会議②	女性相談支援員 連絡会議②	埼玉弁護士会共催 3/7(金)
			DV防止 ～パープルリボンキャンペーン～										
	講座・研修事業		○デートDV防止講座 7月～12月の間 高校 5校										
			困難女性支援事業 セミナー&グループ相談会 6回 (9/23(月)、10/25(金)、11/2(土)、1/18(土)、2/16(日)、2/23(日))										
	主催事業	市町村担当職員 初任者研修 4/28(金) 女性支援・DV被害者 支援担当者基礎研修①		男女共同参画週間講演会 6/30(日) 女性支援・DV被害者 支援担当者基礎研修②③		市町村地域研修① 7/9(日)	女性リーダー応援講座① 8/25(日)	女性リーダー応援講座② 9/14(土)	男性によるトークセッション 10/5(土) 女性リーダー応援講座③ 10/19(土) ジェンダー主流化 トップセミナー 10/21(月)	女性支援・DV被害者支援地区別専門研修 女性リーダー応援講座④ 11/10(日) ジェンダー主流化 実務者向けセミナー 11/28(木)	女性リーダー応援講座⑤ 12/21(土)	女性リーダー応援講座⑥ 1/18(土)	With You さいたま フェスティバル講演会 2/2(日)
	共催事業		埼玉大学 (ダイバーシティ推進センター)との共催事業 10/4～2/2										
									女性支援・DV被害者 支援担当者応用研修	小児医療センター共催講座 11/9(土)	目白大学・同短期大学部との共催事業 (地域連携・研究推進センター) 12/4～2/2		
交流支援事業	自主活動			サポートスタッフ会議 6/7(金)								With You さいたま フェスティバル 2/1(土)・2/2(日)	女性リーダー応援講座修了生リアル交流会 3/8(土)
			女性リーダー育成講座修了生オンライン交流会(毎月第3日曜日)										